

2021年3月期 第3四半期連結業績概要 2021年3月期 通期見通しについて

専務執行役員
山西 哲司

2021年3月期 第3四半期決算のポイント

コロナ禍での社会経済活動、生産活動の再開により、エレクトロニクス需要の回復基調が継続。DX、EX関連需要が堅調に推移し、前年同期比増収・増益を確保。

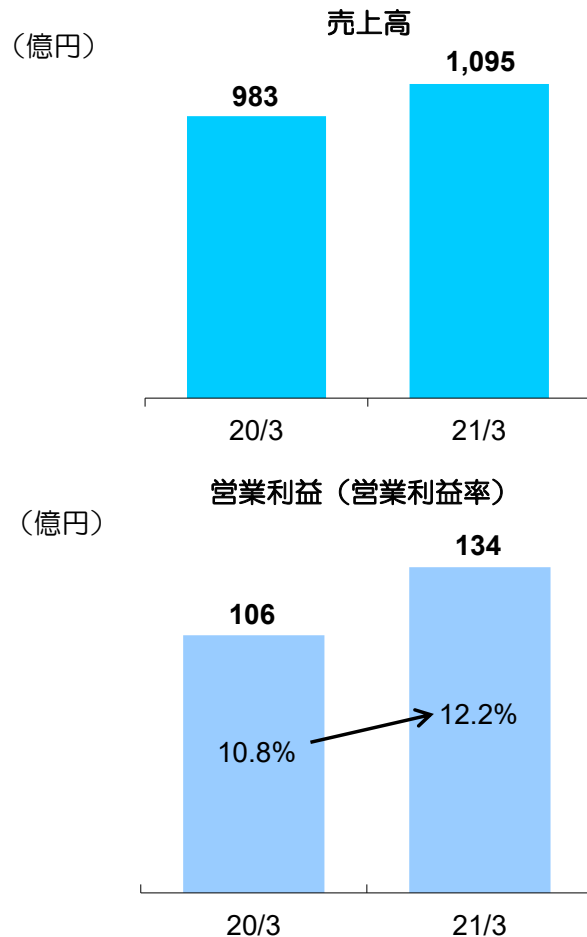
- 売上高は前年同期比11.3%増、営業利益は前年同期比11.6%増
- 第3四半期の売上高、営業利益は四半期ベースで過去最高を更新*
 - ↳第2四半期より急速に回復した自動車市場向けの受注が第3四半期も好調に推移し、受動部品、センサの販売が拡大。
 - ↳ICT市場向けは、DX関連需要が引き続き堅調に推移。在宅勤務・授業向けPC、タブレットや5Gスマートフォン向けに、二次電池、受動部品の販売が拡大。
 - ↳第3四半期までの実績及び直近の受注動向より通期業績見通しを上方修正。
 - ↳コロナ禍における短期的収益改善施策の継続、及び需要動向変化を見据えた拠点再編等の資産効率向上施策を推進。

*営業利益は2017年3月期に計上の事業譲渡益を除いたベースで比較

2021年3月期 第3四半期（四半期）連結業績概要

	(億円)	2020年3月期 第3四半期実績	2021年3月期 第3四半期実績	前期比	
				増減	増減率 (%)
売上高		3,556	3,957	401	11.3
営業利益		404	451	47	11.6
営業利益率		11.4%	11.4%	-	-
税引前利益		412	462	50	12.1
当期純利益		295	309	14	4.7
1株当たり利益 (円)		233.35	244.22	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.74	104.50	3.9%の円高	
	対ユーロレート (円)	120.34	124.46	3.4%の円安	
為替変動による 影響金額		売上高：約70億円の減収 営業利益：約43億円の減益			

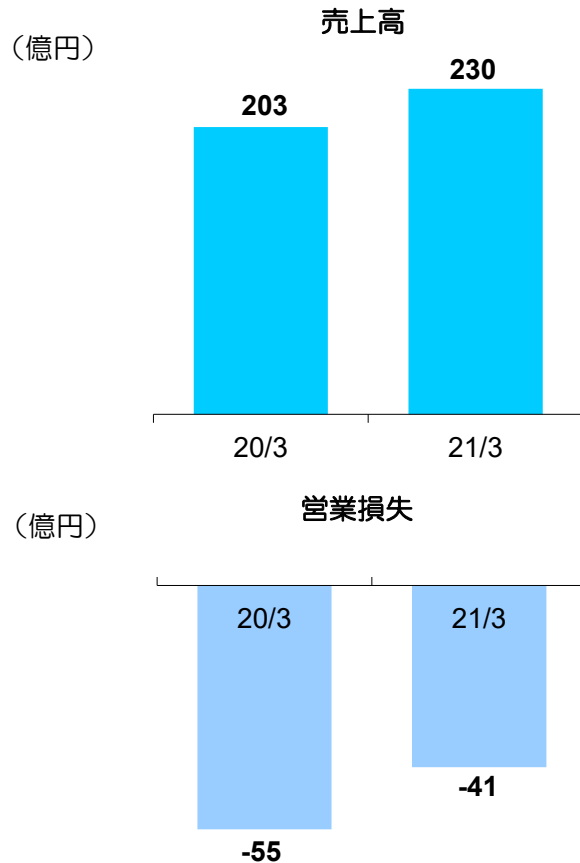
第3四半期各事業の状況（受動部品事業）



売上高 1,095億円（前年同期比11.4%増）
営業利益 134億円（前年同期比26.4%増）

- セラミックコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ 自動車市場・代理店向けの販売が増加、ICT市場向けの販売が減少。
- アルミ・フィルムコンデンサ
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ 自動車市場・産業機器市場向けの販売が増加。
- インダクティブデバイス
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ 自動車市場・ICT市場向けの販売が増加。
- 高周波部品
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ 自動車市場・ICT市場向けの販売が増加。
- 圧電材料部品・回路保護部品
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ 自動車市場・産業機器市場向けを中心に販売が増加。

第3四半期各事業の状況（センサ応用製品事業）

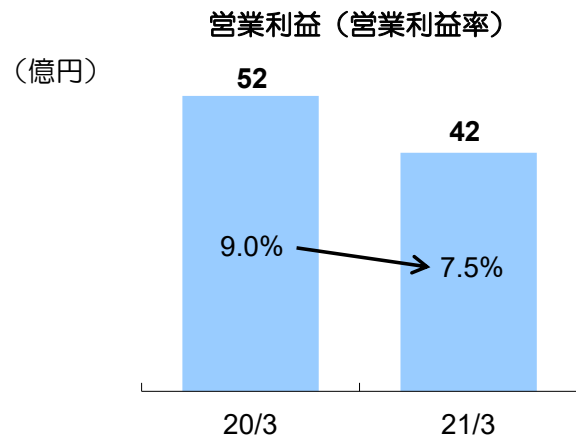
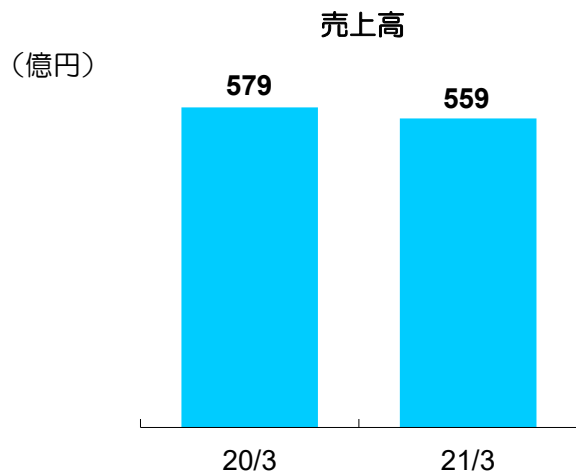


売上高 230億円（前年同期比13.3%増）
営業損失 △41億円（前年同期比一%減）

- センサ

- 自動車市場・産業機器向けの温度センサの販売が増加。
- TMRセンサは、ICT市場向けの販売が大幅に拡大し増益。
- MEMSセンサは、モーションセンサのICT市場向けの販売が、顧客基盤の拡大により増加。

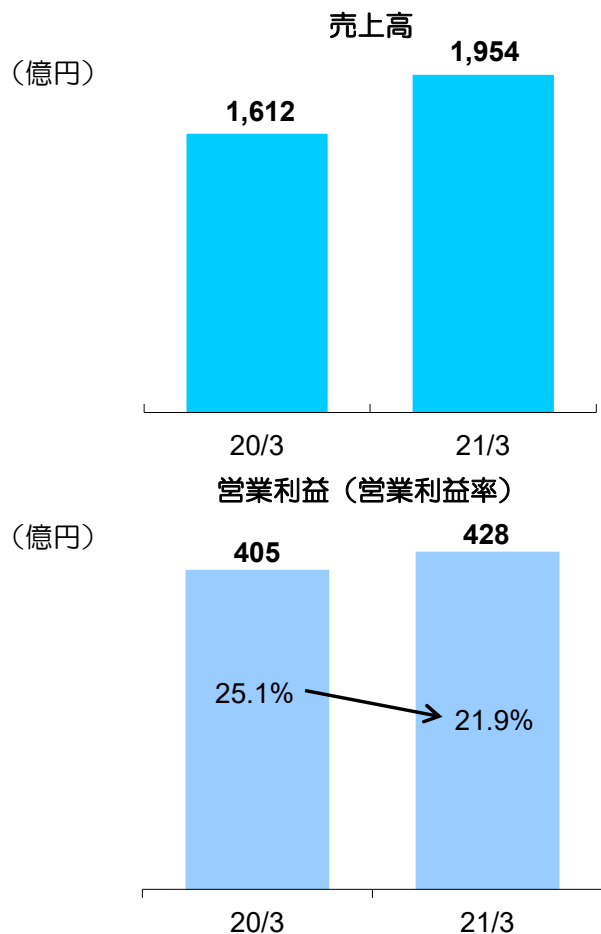
第3四半期各事業の状況（磁気応用製品事業）



売上高 559億円（前年同期比3.5%減）
営業利益 42億円（前年同期比19.2%減）

- HDDヘッド・サスペンション
 - HDDヘッドは前年同期比で減収・減益。
 - HDDサスペンションは、サスペンション及びサスペンション応用製品の販売が拡大し増収・増益。
- マグネット
 - 前年同期比で増収・増益。
 - 産業機器市場向けを中心に販売が増加。

第3四半期各事業の状況（エナジー応用製品事業）



売上高 1,954億円（前年同期比21.2%増）
営業利益 428億円（前年同期比5.7%増）

- エナジーデバイス（二次電池）
 - ↳ 前年同期比で増収・増益。
 - ↳ スマートフォン、PC、タブレット向けの販売が拡大。
 - ↳ ワイヤレスイヤホン（TWS）等小型機器向けのミニセル製品の販売が拡大。
 - ↳ 電動二輪車、家庭用蓄電システム向けのパワーセル製品の販売が拡大。
- 電源
 - ↳ 産業機器用電源は、前年同期比で増収・増益。

セグメント別四半期実績

(億円)		2020年3月期 第3四半期 (A)	2021年3月期 第2四半期 (B)	2021年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	373	386	419	46	12.3	33	8.5
	インダクティブデバイス	348	346	390	42	12.1	44	12.7
	その他受動部品	263	262	285	22	8.4	23	8.8
	受動部品合計	983	994	1,095	112	11.4	101	10.2
	センサ応用製品合計	203	198	230	27	13.3	32	16.2
	磁気応用製品合計	579	504	559	△ 20	△ 3.5	55	10.9
	エネルギー応用製品合計	1,612	2,007	1,954	342	21.2	△ 53	△ 2.6
	その他	179	114	119	△ 60	△ 33.5	5	4.4
	合計	3,556	3,817	3,957	401	11.3	140	3.7
営業利益	受動部品	106	97	134	28	26.4	37	38.1
	センサ応用製品	△ 55	△ 51	△ 41	14	-	10	-
	磁気応用製品	52	14	42	△ 10	△ 19.2	28	200.0
	エネルギー応用製品	405	483	428	23	5.7	△ 55	△ 11.4
	その他	△ 25	△ 28	△ 30	△ 5	-	△ 2	-
	小計	484	515	533	49	10.1	18	3.5
	全社および消去	△ 80	△ 75	△ 82	△ 2	-	△ 7	-
	合計	404	440	451	47	11.6	11	2.5
営業利益率		11.4%	11.5%	11.4%	-	-	-0.1pt	-
為替	対ドルレート (円)	108.74	106.23	104.50				
	対ユーロレート (円)	120.34	124.06	124.46				

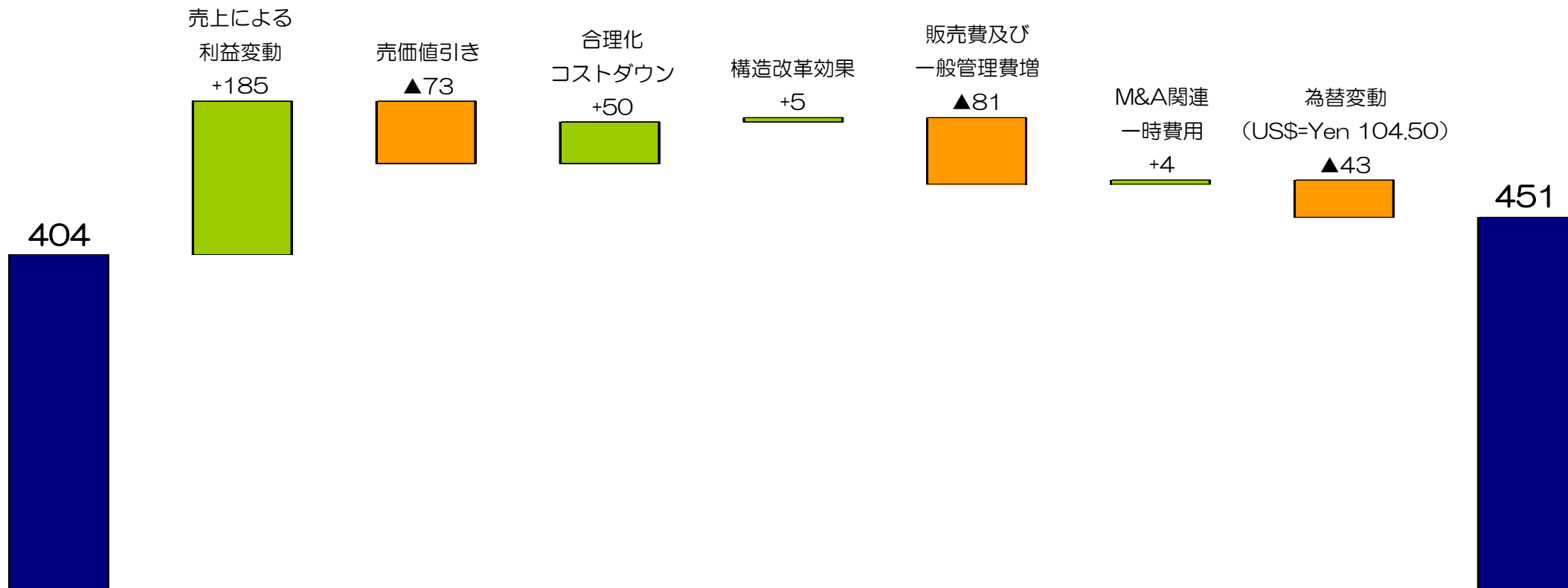
営業利益増減分析

2020年3月期
第3四半期
404億円

営業利益 +47億円

2021年3月期
第3四半期
451億円

(単位：億円)



2021年3月期 第3四半期（9か月）連結業績概要

(億円)	2020年3月期 第3四半期累計実績 (2019.4.1~2019.12.31)	2021年3月期 第3四半期累計実績 (2020.4.1~2020.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率 (%)
売上高	10,627	10,868	241	2.3
営業利益	1,092	1,075	△ 17	-1.6
営業利益率	10.3%	9.9%	-0.4pt	-
税引前利益	1,098	1,094	△ 4	-0.4
当期純利益	744	731	△ 13	-1.7
1株当たり利益 (円)	589.16	578.49	-	-
為替	対ドルレート (円)	108.74	106.11	2.4%の円高
	対ユーロレート (円)	121.12	122.34	1.0%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約209億円の減収 営業利益：約46億円の減益			

2021年3月期 連結業績及び配当金見通し

(億円)	2020年3月期 通期実績	2021年3月期 業績予想 (2020年7月発表)	2021年3月期 業績予想 (2020年10月発表)	2021年3月期 業績予想 (2021年1月発表)	業績予想対前期比	
					増減	増減率(%)
売上高	13,630	12,900	14,000	14,500	870	6.4
営業利益	979	700	1,100	1,100	121	12.4
営業利益率	7.2%	5.4%	7.9%	7.6%	+0.4 pt	-
税引前利益	959	700	1,110	1,160	201	21.0
当期純利益	578	480	760	760	182	31.5
1株当たり利益(円)	457.47	379.98	601.64	601.64	-	-
配当金	中間：90円 期末：90円 年間：180円	中間：80円 期末：80円 年間：160円	中間：90円 期末：90円 年間：180円	中間：90円 期末：90円 年間：180円	-	-
為替	対ドルレート	108.82	105.00	106.00	105.00	-
	対ユーロレート	120.92	117.00	123.00	123.00	-
固定資産の取得 (設備投資)	1,734	1,800	2,000	2,000	266	15.3
減価償却費	1,250	1,400	1,400	1,400	150	12.0
研究開発費	1,175	1,200	1,200	1,200	25	2.1

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといいます。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

また、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
https://www.jp.tdk.com/corp/ja/ir/ir_events/conference/2021/3q_1.htm